

平成25年度「静岡県耐震診断補強相談士」養成講習会

静岡県では、予想される東海地震による木造住宅の倒壊から県民の生命・財産を守るため、「プロジェクト『TOUKAI-0』」を推進しており、昭和56年以前の木造住宅を対象に、①「わが家の専門家診断事業」②「木造住宅補強計画策定事業」③「木造住宅耐震補強助成事業」の3つを柱として、耐震化を推進する事業を展開しています。

本講習会は、木造住宅の耐震診断法を修得することにより、地域の耐震相談窓口としての専門家を養成するために実施し、受講終了後に静岡県耐震診断補強相談士として登録を希望される方を対象としています。

＜主催：静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会、共催：静岡県＞

- 1 開催日時 平成25年8月8日(木) 10:45～16:45 (受付10:15～)
- 2 開催会場 静岡商工会議所 5階ホール(静岡市葵区黒金町20-8 TEL054-253-5111)
- 3 講習内容

| 内 容 | 講 師 (敬称略) | 時 間 |
|---------------------|-----------------|------------|
| 耐震診断法(一般診断法) | 東京大学 腰原 幹雄 教授 | 10:45～ 90分 |
| 耐震診断法(精密診断法) | 〃 | 13:15～ 90分 |
| 耐震診断事例の説明 | 建築士会 滝 英規(富士地区) | 15:00～ 90分 |
| プロジェクト「TOUKAI-0」の説明 | 静岡県職員 | 16:30～ 15分 |

本講習会はCPD認定講習会となりますので、CPDカードをご持参ください。

- 4 募集人数 <新規> 250名 (先着順)
- 5 受講資格 <新規> 静岡県内に在住又は在勤する、次のいずれかの者
 - ・ 建築士(一級、二級、木造)
 - ・ 木造住宅の施工(大工)に関して7年以上の実務経験を有する者
(実務経験は、大学、高校等で「建築」を学んだ年数を含む)

6 受講料

| | |
|--|---|
| 静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会 会員の方(申込用紙に構成メンバー記載あり) | 11,000円 [(1)防災協会テキスト代7,000円+受講料4,000円] ただし、テキスト持参の場合 4,000円[受講料のみ] |
| 静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会 非会員の方 | 13,000円 [(1)防災協会テキスト代7,000円+受講料6,000円] ただし、テキスト持参の場合 6,000円[受講料のみ] |

※お支払いいただいた受講料は、当方の都合により受講をお断りする場合を除いて返金いたしません。

※テキスト代込みで受講料をお支払いいただき、当日欠席された方には後日テキストを送付いたします。

7 テキスト

2012年改訂版「木造住宅の耐震診断と補強方法」(一財)日本建築防災協会 発行

本講習会は、本書に準拠した内容で行いますので、受講日当日は必ず本書をご持参ください。なお、旧版を持参されても受講できません。本書をお持ちでない方は、ご自身で事前に日本建築防災協会より購入(定価7,000円)されるか(購入方法は下記へお問い合わせください)、講習会申込用紙の受講料欄(防災協会の本同時購入)の該当する番号に○印を付し、テキスト代7,000円を含めた受講料を振り込んでください。購入されたテキストは講習会当日会場にてお渡しします。

発行元：一般財団法人日本建築防災協会 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル3F
電話 03-5512-6451 ホームページ <http://www.kenchiku-bosai.or.jp/index.html>

- 8 申込方法 申込用紙(別紙)にご記入のうえ、(公社)静岡県建築士会にFAXでお申込ください。
(申込受付後に受講票、受講料振込用紙、受講案内等を送付いたします。)
- [申込期限] 平成25年7月31日(水)必着(期限内でも定員になり次第、締め切らせていただきます)
- 9 問い合わせ 申込について -----(公社)静岡県建築士会 TEL 054-254-9381
FAX 054-273-0478
耐震診断補強相談士について--静岡県建築安全推進課 TEL 054-221-3320

＜注意点＞

- 講習会の受講者は、静岡県耐震診断補強相談士認定制度要綱に従い、「静岡県耐震診断補強相談士」(裏面参照)の認定・登録の申請をすることができます。(登録名簿は市町窓口、土木事務所窓口で公開されます。)

静岡県耐震診断補強相談士の業務

- 静岡県耐震診断補強相談士とは
建築士（1級、2級、木造）、大工（実務経験7年以上）で県指定の講習会を受け、相談士として登録された者。
 - 静岡県耐震診断補強相談士の業務
 - 「わが家の専門家診断」での無料耐震診断
 - ・市や町から委託された建築団体（建築士会等）を通じて、原則として会員に調査依頼
→ 会員の中でも診断経験豊富なベテラン相談士に依頼されているのが実情です
- <手順>
- (1) 住民が市・町に耐震診断を申し込む
 - (2) 市・町は建築団体に耐震診断を依頼する
 - (3) 建築団体から相談士に耐震診断を依頼する
 - (4) 相談士は耐震診断を申し込んだ方との連絡調整（1週間以内を目安に）
 - (5) 現地調査、図面等確認を行い、耐震診断の実施
 - (6) 診断報告書を作成し、団体担当者のチェックを受ける
 - (7) 耐震診断申込者へ耐震診断報告書を提出し、耐震診断結果を説明（診断終了後1ヶ月以内）
（耐震診断後の補助制度や耐震優遇税制の説明、耐震補強工事に関する相談、概算工事費の提示なども含む）
 - (8) 耐震診断報告書を建築団体等に提出し、報告する（市・町によって提出先は異なる）
 - (9) 建築団体から相談士に報酬の支払い（市・町と建築団体との契約により時期は異なる）
- 相談士の資格のできる補助業務（住民との個別の契約により実施）
 - 耐震補強計画策定（相談士のいる建築士事務所に限る）
 - ・耐震診断の結果、耐震性の劣る住宅への耐震補強工事の計画策定
 - ・当該住宅の耐震補強工事後の評点の計算
 - 耐震補強工事における評点の確認（相談士のいる建築士事務所に限る）
 - ・補強計画どおりに耐震補強工事が行われているかの確認
 - ・補強箇所などに変更があった場合の評点の計算
- ※耐震補強工事自体は相談士の資格が無くても実施できるが、補強後の評点の確認には必要
- 市・町における木造住宅耐震化の推進活動への協力
地域での耐震相談・訪問相談など耐震化促進のために協力（内容は市・町によって異なる）
 - 登録者名簿の公表
相談士の登録をした者は、登録者名簿に登載し、県及び市・町の窓口等で公表する。

講習会参加申込みから相談士登録証の発行まで

< 講習会参加申込み >

① F A X による申込 (申込期限7/31)

② F A X 内容のチェック

③ 郵 送

(送付状、認定申請用紙、振込用紙、会場案内図)

< 相談士の登録 >

④ 8/8 当日持参

(認定申請用紙、振込用紙コピー、写真 (横2cm×縦3cm))

⑤ 受付時 書類チェック

⑥ 封筒 (大、小) 配布【大に氏名、小に住所・氏名を各自記入】

⑦ 講習会終了後、受講終了証を配布

⑧ 講習会終了後、机に提出書類を置いて退席

【封筒大に、認定申請用紙、写真、封筒小を同封】

⑨ 事務局で書類チェック

⑩ 後日 (9 月末頃を予定)、封筒小に入れて「登録証」を郵送

申請者

静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会
(窓口 (公社) 静岡県建築士会事務局)

* FAX送付の際は送信面の裏表にご注意ください*

HP

平成 25 年度 (8/8) 「静岡県耐震診断補強相談士」養成講習会申込用紙

| | | | | | | |
|-------------------------------|---|------|----------------|-----------------------|------|------|
| フリガナ 氏名 | | 性別 | 男 ・ 女 | | 受講案内 | 1 自宅 |
| | | 生年月日 | S・H | 年 月 日 | | 送付先 |
| 自宅住所 | 〒 (TEL) (FAX) (携帯TEL) | | | | | |
| CPD番号 | (番号) ※CPD番号をお持ちの方は必ずご記入下さい。 | | | | | |
| 勤務先名 | | | | | | |
| 勤務先住所 | 〒 (TEL) (FAX) | | | | | |
| 資格 | ・建築士(1級・2級・木造) ※該当する級別を○で囲む ※静岡県建築士会、静岡県建築士事務所協会の会員でない建築士の方は、 本申込書と一緒に「建築士免許証」もFAX送付が必要です | | | | | |
| | 建築士免許登録番号() | 号 | 登録年月日S・H 年 月 日 | | | |
| | ・木造住宅の施工(大工)に関して7年以上の実務経験を有する者 (経験年数 年) ※下記の「実務経験報告書」に記載願います | | | | | |
| 所属団体 (該当番号に ○印 :重複可) | 1 (公社) 静岡県建築士会 (地区名: 地区) 2 (一社) 静岡県建築士事務所協会 3 静岡県木造建築工業組合 4 その他 () 5 なし | | | | | |
| 受講料 (該当番号に ○印) | 静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会 会員の方(※下記構成メンバー) | | 1 | 11,000円(防災協会発行の本同時購入) | | |
| | 静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会 非会員の方 | | 2 | 4,000円(防災協会発行の本持参) | | |
| | | | 3 | 13,000円(防災協会発行の本同時購入) | | |
| | | | 4 | 6,000円(防災協会発行の本持参) | | |

※ 静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会の会員：以下の組織の会員の方
 (一社) 静岡県建築士事務所協会、(公社) 静岡県建築士会、静岡県木造建築工業組合、
 (一社) 静岡県建設業協会、(一社) 日本木造住宅産業協会静岡県支部、(一社) 静岡県都市開発協会、
 静岡県中部建設業協同組合、(一財) 静岡県建築住宅まちづくりセンター(まちせんクラブの会員を除く)、
 全建総連静岡県建設労働組合、(一社) 日本建築構造技術者協会中部支部静岡部会、
 (公社) 日本エクステリア建設業協会静岡県支部

実務経験申告書 <<建築士の資格のない大工の方は記入願います>>

| 期 間 | 勤務先・学校名 | 左の所在地 | 年数 | 木造住宅に関する 実務経験年数 | 木造住宅に関する 実務経験内容 |
|--------------------------|----------|------------|-------------|--------------------|--------------------|
| 年 月から 年 月まで | | | 年 ヶ月 | 年 ヶ月 | 施工・学歴 |
| 年 月から 年 月まで | | | 年 ヶ月 | 年 ヶ月 | 施工・学歴 |
| 年 月から 年 月まで | | | 年 ヶ月 | 年 ヶ月 | 施工・学歴 |
| 記載例 昭和〇年〇月から 昭和〇年〇月まで | 〇〇高校建築科 | 〇〇市 〇〇町 | 3年 ヶ月 | 3年 ヶ月 | 施工・ <u>学歴</u> |
| 記載例 昭和〇〇年〇月～ 平成〇〇年〇月 | (株)〇〇工務店 | 〇〇市 〇〇町 | 21年 11ヶ月 | 21年 11ヶ月 | <u>施工</u> ・学歴 |

※記入上の注意：①この申告書は申込年月日現在で記入し在職期間を確定してください。
 ②実務経験には、大学、高校などで「建築」を学んだ年数を加算できます。